

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年5月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677000111
法人名	社会福祉法人 福寿会
事業所名	グループホームるーびんのさと〈大崎〉
所在地	鹿児島県曾於郡大崎町永吉6034番地 (電話) 099-471-7390
自己評価作成日	平成29年4月21日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=4
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年5月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

緑豊かな田園地帯の中に立てられ、どの居室も日当たりと風通しがよく自由にベランダに出られるようになっている。純和風の造りにこだわり、まるで自分の家に帰ってきたかのような雰囲気を考え、認知症の方々が落ち着いて安心した生活が出来るように造られている。一人、一人の個性を尊重し無理をせずその人らしさが生かせるようにケアに取り組んでいる。野菜を植えたり四季の食材を取り入れたり外出を行う事で、季節感を感じられるようにしている。家族の方へ行事等への参加をお願い一緒に過ごす時間を大切にして頂くよう支援している。お盆やお正月は家族にお願いし少しでも自分の家に帰って過ごして頂けるように支援している。体調管理にも気を付けて、看護師・主治医との連絡を保ち報告・相談をし、病状が悪化しないように支援している。家庭的な雰囲気の中でゆったりと暮らし、暖かい介護・地域に根差したホーム作りに努めている。

- ・当ホームは母体法人の特別養護老人ホームを中心に老人福祉関連の事業を展開し、地域の老人福祉に貢献している。
- ・利用者は、広い敷地の花壇や菜園で季節を感じたり、居室の障子やホールの和風照明、仏間、ウッドデッキ等による落ち着いた雰囲気の生活環境で過ごしている。安全対策としてホールや居室の掃き出し戸からウッドデッキに出られスロープも設置し、避難路が整備されている。
- ・協力医療機関及び法人の看護師との24時間連携・協力体制が築かれており、健康管理や往診、緊急時の対応等により医療面における利用者・家族、職員の安心となっている。
- ・職員の研修参加や資格取得を奨励し、職員の資質及びケアの向上に取り組んでいる。
- ・地域協力隊との連携を取りながら、避難訓練やボランティアに協力体制もできている一方、秋まつりなどの法人の行事にも地域の人々の参加があり、ともどもに交流の場となっている。
- ・代表者や管理者は職員とのコミュニケーションを図り、職員の意見や提案を積極的に取り入れている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	年度末に次年度の理念を話し合っ て決めて、定期的に朝礼時に読み上げて意識づけている。	年度末に目標を含めた理念を検討し、フロアに掲示して朝礼時に唱和している。ケアを処遇会議や部署会議で振り返り、理念の実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	買い物やドライブで地域に出向くことはあるが、地域との交流は日常的には出来ていない。	近隣の祭りや駅伝の応援に出かけたり地域協力隊と一緒に法人の秋祭りに参加する等、住民との交流の機会を作っている。住民からの野菜・花の差し入れに、手作り菓子等のお返しをする等で地域と親しくしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症の知識や支援方法など地域の人々へ生かす環境を作れずにいる為、生かしていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議内で状況報告、情報交換を行っているがサービス向上にはつながっていない。	会議は定期的実施している。事業所の状況や外部評価の報告などを行い、地域の情報も得ている。参加者からも多くの助言や提案があり、白熱灯をLEDに切り替えるなどサービス向上に向けて活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議、町内の研修会に参加し事業所の実情、活動状況等の意見交換を行い協力関係を築いている。</p>	<p>町の担当者には、運営推進会議に参加してもらったり電話や窓口に出向き事業所の実情や情報を交換し助言を貰っている。運営推進会議を通して協力関係もできている。ケアマネ会議や町主催の研修会にも参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>施錠は夜のみ行い昼間は解放している。生命に関わる場合などやむを得ず身体拘束を行う際は一時的とし、常に話し合いを行っている。</p>	<p>職員会議や部署会議等で勉強会を実施し、事例検討などで職員の共有認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。日中の玄関の施錠はせず、職員間の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>会議などで定期的に勉強会を行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>会議などで定期的に勉強会を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に説明を行っており、その都度不安や疑問点などあった場合は速やかに対応している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者、家族より意見、要望があった際は連絡ノートや会議等で話をするようにしている。</p>	<p>利用者からは日々の生活の中で意見や要望を聞き、家族からは面会や電話・遠足を兼ねての家族会・運営推進会議などが意見を聞く良い機会となっている。出された意見等は、連絡ノートで職員が共有し職員で話し合い反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>会議などで意見があれば聞き、その意見を反映できるよう努力している。</p>	<p>施設長及び管理者は処遇会議で職員の意見等を聞く機会を設けている。個別相談は日常的に管理者が受け、必要時施設長に報告している。職員の要望を受け、利用者に供する為の録画用のハードディスクの購入を検討中である。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>努めているがなかなか難しい状況である。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	法人内外の研修を受けられる機会は作っている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	研修・勉強会など交流する機会は作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>要望等あれば聞き、本人の不安など無くす様、環境作りに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>カンファレンスや面会時に意見や、要望等を聞き関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>申し込みの際に本人や家族の要望、状況などを聞き、適したサービスを提供出来る様にして</p> <p>いる。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>生活の中で利用者が出来る所は時間がかかってもしてもらい、一緒に生活しているように感じて頂ける様に関係作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	カンファレンスの時などに面会や外出などの協力を依頼し、関係作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の話等をレクに取り入れているが、近辺付近・馴染みの場所などの散歩外出は出来ていない。	家族の面会が多い。特別養護老人ホームを利用している知人を訪問したり、自宅や自宅周辺を訪問するなど継続的關係が途切れないよう支援している。年賀状や電話の取り次ぎなども行っている。家族の協力外出や外泊・外食・年忌・墓参などの際にも支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座る席などの配置などに気を配ってレクリエーションでゲームなど行かない孤立しないように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院・入所での面会を主任が行っている。必要に応じて法人内外の事業所など紹介している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人との面談や家族への聞き取りなどを行い出来るだけ本人の意向に添ったケアを行っている。	日々の関わりの中で声をかけ、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。家族の情報等を参考に、開設時からの職員が多く、長期に渡る利用者との関わりで本人の意向等を把握しやすい関係を築いている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族に昔話や入所時に必要なアセスメントを行っている。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	家族に昔話や入所時に必要なアセスメントを行っている。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	各担当が情報・家族の話本人の状況などを会議で話し合いケアの方針を決めている。	本人や家族が参加しての担当者会議で、処遇会議の資料や主治医の意見も取り入れて話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。1ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>健康チェック・排泄チェックを行い変化時や往診時・病院受診時等連絡ノートに記入し情報の共有を行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>時間がかかっても自力で出来る様に見守りを行いなるべく残存機能を活かした支援を行うようにしている。外出や外泊の際は送迎などの支援を行っている。状況の変化時は家族に相談しながらケアに努めていきたい。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>行えていないので、支援できるように努力していきたい。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>特養看護師・主治医の往診を受けている。夜間帯でもすぐに対応できる体制となっている。</p>	<p>受診は本人や家族の希望で、ほとんど協力医療機関が主治医となっている。協力医療機関による毎週の訪問診療や訪問看護師の訪問で健康管理などの連携も図られ、緊急時の対応など連携を取りながら適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>的場クリニック・特養看護師との連体制</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院先の病院との連絡・協力を出来る様にしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>早い段階で主治医・特養看護師・家族・スタッフとの細かい話し合いを行っている。</p>	<p>契約時に重度化に伴う対応の指針を説明し、入院か法人内特別養護老人ホームに入所希望を含め家族の意向を確認している。状況変化に伴い、本人や家族の意向を随時確認し、医師を交えて話し合い家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。看取りの事例もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>応急救護の講習を2年に1回受講し職員会で勉強会も行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災訓練は行っているが、その他の災害訓練は行っていない。</p>	<p>消防署立会いのもと年2回、自主で毎月、昼夜想定火災訓練を実施している。スプリンクラーや緊急通報装置も設置され、地域協力隊や法人職員住宅の住民などとも協力体制ができている。災害時の水や米・缶詰等の備蓄とカセットコンロなどを準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>その人・その時パターンで声掛けの工夫をし、部屋のレイアウトなどの工夫も行っている。</p>	<p>マニュアルに沿って研修を実施し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけに取り組んでいる。入浴やトイレ誘導などでは羞恥心に対する配慮を行っている。その人らしさやさん付けでの呼びかけ・入室時のノック・トイレの戸を閉める等の対応をしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>その時その時で本人に聞いて行い介助者からの一歩的なケアにならないように気を付けている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>なるべくそうしたいが職員人数が少なく難しいのが現状である。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>行事の際は希望者のみ化粧を行っている。又2カ月に1回散髪を頼んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	本人様の状態に合わせた安全な味・形態で、提供している。生活リハでお膳拭き・お皿洗いなども行っている。	栄養士の献立で、特別養護老人ホームの厨房からの配食である。ご飯と味噌汁はホームで作っている。誕生日にはケーキやおやつを作り楽しみになっている。台拭きや片付けを職員と一緒にしたりしている。弁当持参での遠足に家族も同行するなど、外食等の楽しみにも取り組み、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の好みや摂取しやすい状態や声かけを行い又水分量のチェック・食事量のチェックを行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアは出来ているが拒否される場合もある。月2回歯科医の往診にて口腔ケアを・チェックを行っている。義歯や口腔内に異常が見られる際はすぐに連絡をし来て頂き治療している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握し日中には声かけを行い定期的にトイレ誘導を行い夜間帯は安眠出来る様にパットを工夫している。	排泄パターンから、必要に応じての声かけをし、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。排泄用品は身体機能に応じて対応している。夜間は、ポータブルトイレや厚さを工夫した尿取りパットの使用等で対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食に牛乳を提供し、水分や食物繊維の多い物を提供するように心掛けている。身体を動かすようにラジオ体操を取り入れている。それでも、排便が無い場合は、主治医に相談し、薬を服用している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴の声かけを行い2日に1回は入浴して頂く。100歳以上の方は体調を考慮し3日に1回入浴を行う。拒否される方や体調が悪い方は清拭や足湯にて対応している。希望があれば入浴して頂く。	入浴は基本的には隔日であるが、個々人の体調や希望にそって柔軟に対応し、希望があれば毎日でも可能である。コミュニケーションの場ともなっている。脱衣室暖房や複数介助で安全で快適な入浴を楽しんでいる。入浴を拒む利用者に声かけや時間調整などで職員間で連携して、状況改善に努めている。入浴剤やしょうぶ湯で入浴を楽しめるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人様のペースで、傾眠傾向など見つけた時はスムーズに促し夕食後より、灯りを調整し音楽をかけたりし、雰囲気作りも行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬について処方箋などは、ファイルに綴っているが、副作用・用法・用量について、分からないことがある場合は看護師に聞くようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	生活リハビリと称し本人の役割を作り出している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	その季節の行事等を通して外出をしている。又、家族の協力をいただき外出をお願いしております。	日常的には周辺の散歩やベランダでの日光浴を楽しんでいる。その日の状況で数名のドライブも実施している。法人の桜祭り・秋祭りに出かけている。計画を立てて、家族も参加の遠足や駅伝応援・お釈迦祭り・精霊流し・地域行事などに積極的に外出している。家族と一緒に外出や外食・墓参などにも出かけている。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	所持している利用者はいないが、家族との連携をとりお金を預り買い物等が出来る様に支援している。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	自ら訴える利用者様にはその都度対応しているが、その他の利用者様には定期的にハガキを送ったりし、支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	なるべく利用者様の不快にならないように音などには配慮している。夜間も眠りを誘うような電気の明かりも少しずつ暗くするよう工夫している。	共用空間は換気・温度・湿度に配慮し清潔である。広々としたフロアは天井が高く採光も十分に、玄関入り口の広い空間に季節の花が飾ってある。壁や廊下には行事の写真や作品が飾られている。利用者は、掃き出し戸からウッドデッキに出て日光浴を楽しんだり、ソファや仏間等も含め、好きな場所でくつろげるよう工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者の性格や関係性などに配慮し、共有スペースのテーブルなどに配置などに気を付けている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室に昔使用していたタンスなどを持って来てもらったり、家族との写真を貼ったり本人が居心地良く過ごせるよう工夫している。	居室は障子があり掃き出し窓でウッドデッキにも自由に出入りできる。エアコンやベッド・クローゼット・洗面台が備え付けである。寝具やタンス・椅子・写真など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人の能力に応じて時間がかかっても出来るだけ自立した生活が安全に送れるよう環境整備している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		○	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない